

## 第5章 計画地及びその周辺地域の概況 並びに環境の特性



# 第5章 計画地及びその周辺地域の概況並びに環境の特性

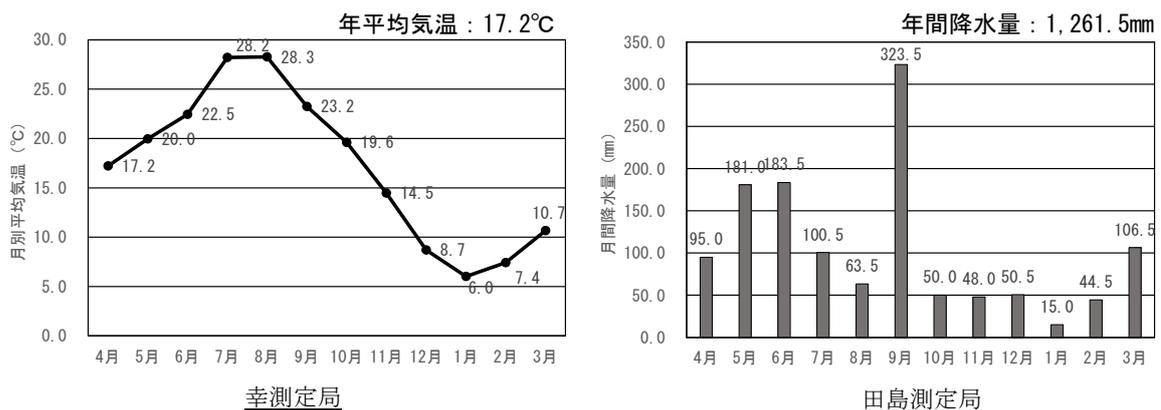
## 1 計画地及びその周辺地域の概況

### (1) 気象の状況

風向、風速及び気温の測定地点としては、一般環境大気測定局（以下「一般局」という。）である幸測定局を示した。また、計画地周辺の降水量の最寄りの測定地点として、一般局である田島測定局を示した。

平成30年度の幸測定局における月別平均気温と、田島測定局における月間降水量は、図5-1に示すとおりである。各測定局の計画地との位置関係は、図5-2に示すとおりである。また、幸測定局における平成30年度の風配図は、図5-3に示すとおりである。

月別平均気温は、最高が8月の28.3℃、最低が1月の6.0℃であり、年平均気温は17.2℃となっている。また、年間降水量は1,261.5mmで、最大月間降水量は9月の323.5mmとなっている。計画地及びその周辺の風特性は、年間の最多風向が北北西、平均風速が2.7m/秒となっている。

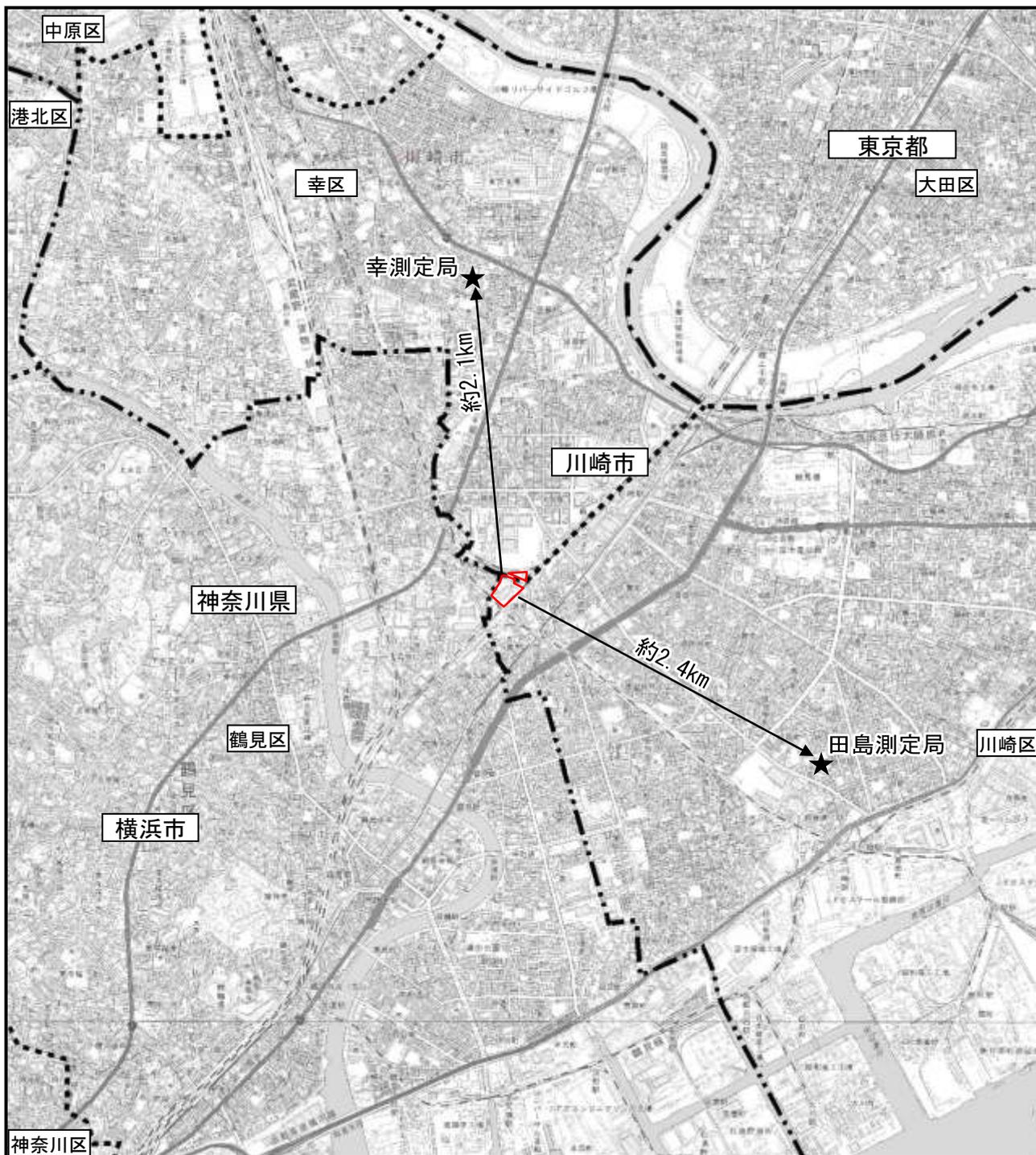


注1) 計画地最寄りの風向、風速及び気温の測定地点は川崎測定局（計画地から約1.5km）であるが、周辺にビルが林立する商業地域内にあり、建物による影響が考えられることから、幸測定局（計画地から約2.1km）の値を示した。なお、先に実施した環境配慮計画書においても、同様の理由から幸測定局の結果を示した。

注2) 田島測定局における9月の降水量については、大型台風の影響により多くなっている。

出典：「川崎市大気データ」（川崎市ホームページ）

図5-1 月別平均気温及び月間降水量（平成30年度 幸測定局及び田島測定局）



凡 例

- 計画地
- — 県境
- · — 市境
- · · · 区境
- ★ 一般環境大気測定局 (気象データ)

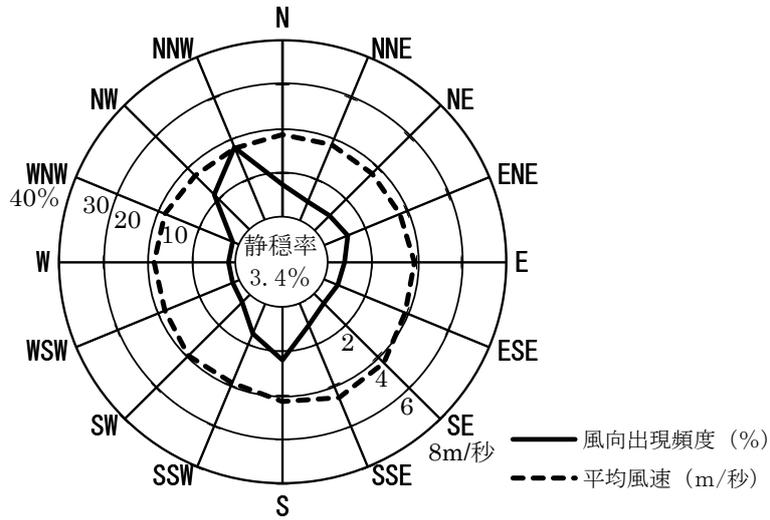
出典：「川崎市大気データ」(川崎市ホームページ)  
「令和元年度 環境局事業概要—公害編—」(令和2年2月 川崎市)



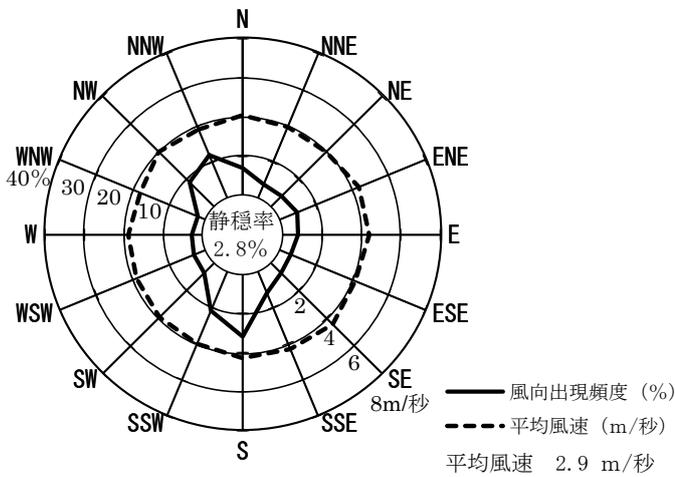
1 : 40,000



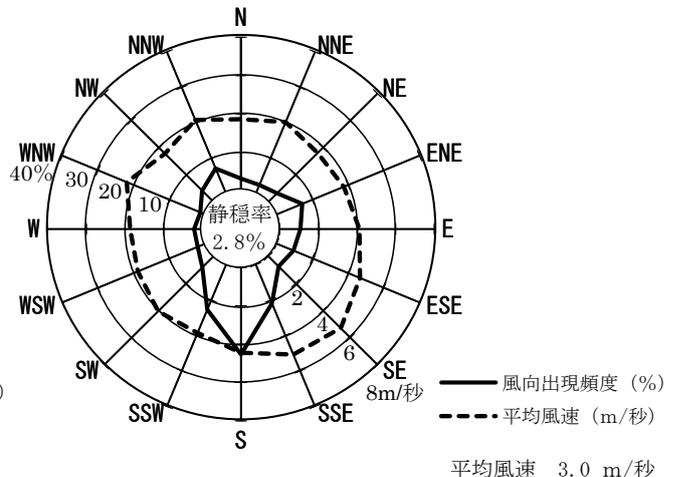
図 5-2 測定局位置図



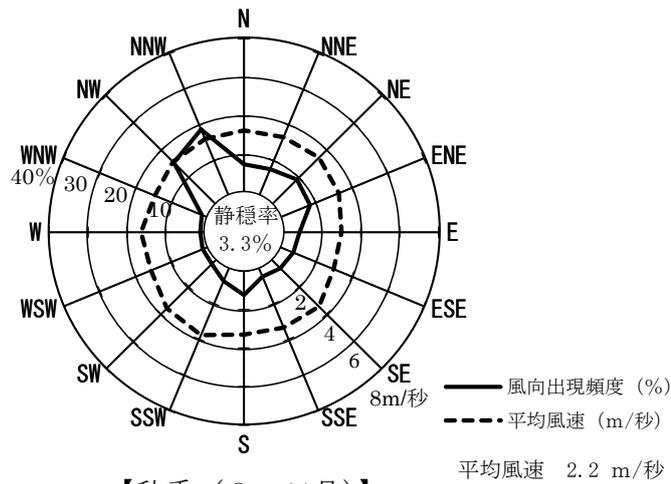
【年間の風向別出現率】



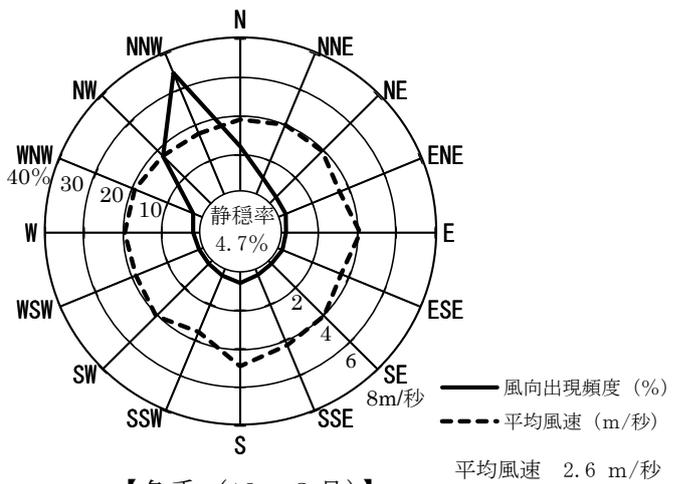
【春季 (3～5月)】



【夏季 (6～8月)】



【秋季 (9～11月)】



【冬季 (12～2月)】

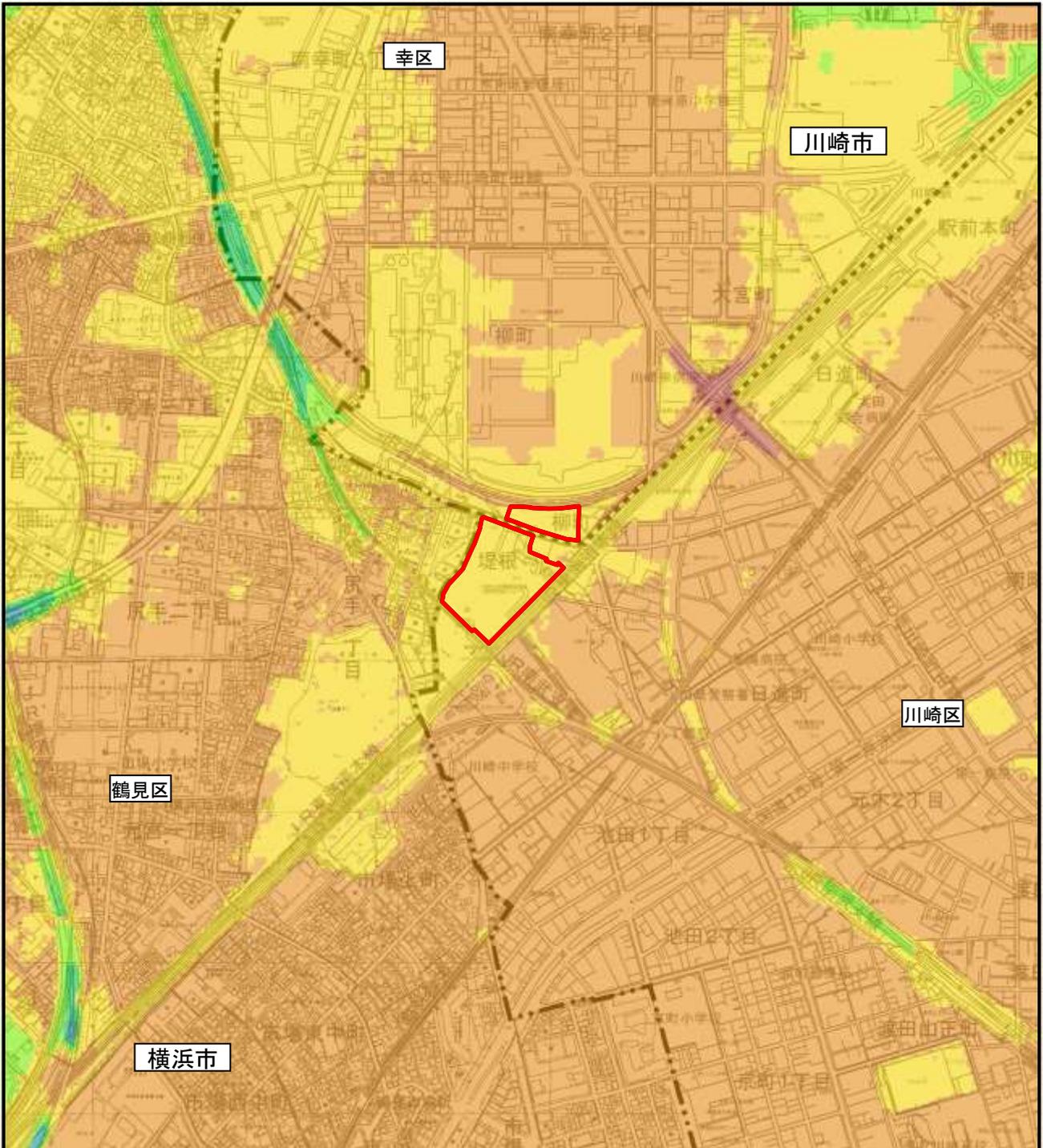
出典：「川崎市大気データ」(川崎市ホームページ)より作成

図5-3 風配図 (平成30年度 幸測定局)

## (2) 地象の状況

計画地及びその周辺の地形の状況は、図5-4に示すとおりである。計画地及びその周辺は、概ね平坦な地形となっている。

地質の状況については、「ガイドマップかわさき」(川崎市ホームページ)によると、計画地内では7地点で調査が行われており、調査地点は図5-5に、柱状図は図5-6に示すとおりである。計画地内の地表には表土及び粘土層がみられる。柳町敷地側では、表層の下にシルトや貝殻まじりシルト、砂などがみられる。堤根敷地側では、表層の下に腐食土まじり粘土などがみられる。



凡 例

- 計画地
- 市境
- 区境

- 0m
- 0 - 2m
- 2 - 4m
- 4 - 6m
- 6 - 8m
- 8 - 10m

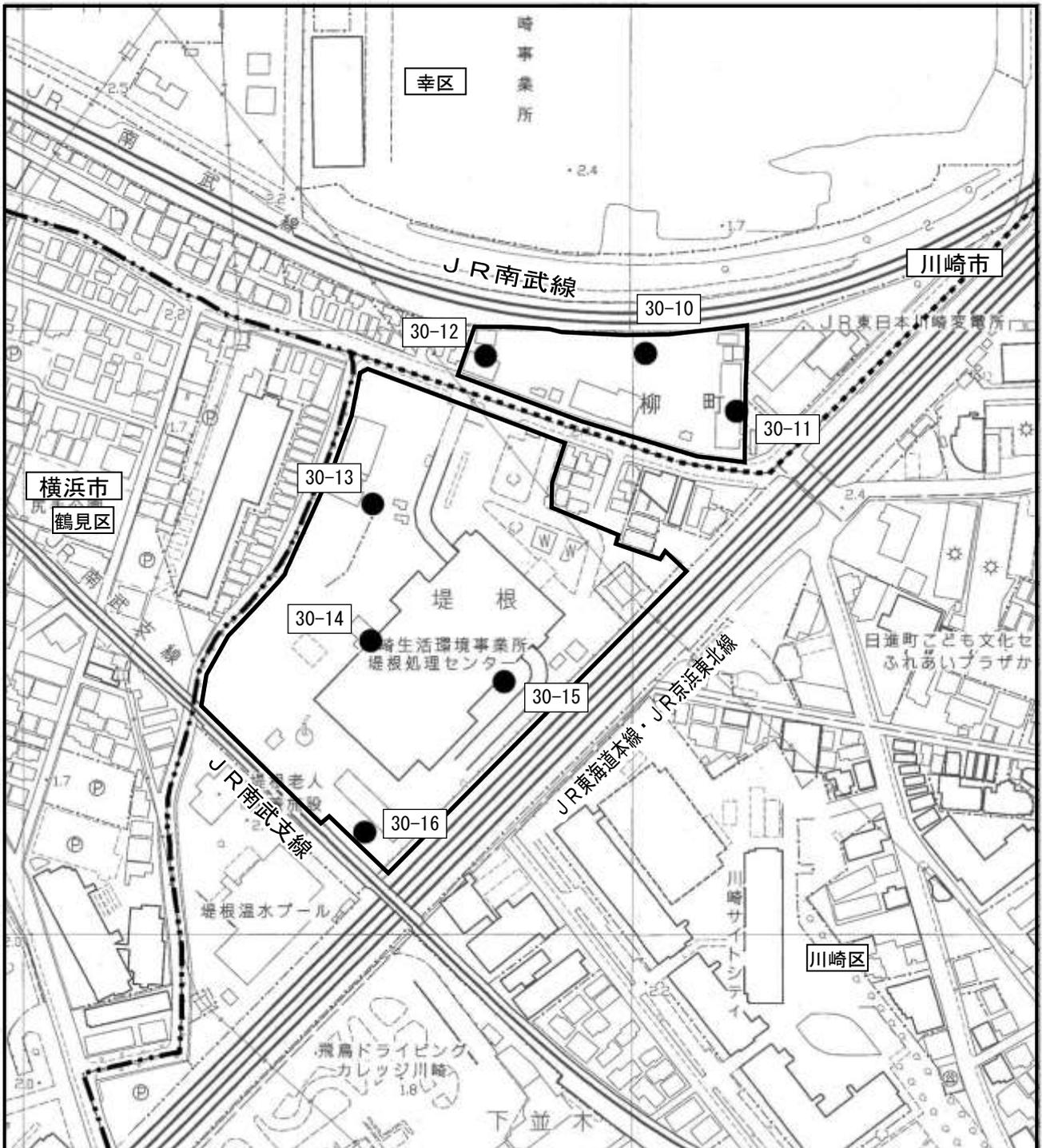
注) 東京湾平均海面 (T.P) を基準 (0m) としている。  
 出典: 「基盤地図情報数値標高モデル」(国土地理院ホームページ)



1 : 10,000



図 5-4 地形の状況図



凡 例

- 計画地
- 調査地点
- - - 市境
- ..... 区境

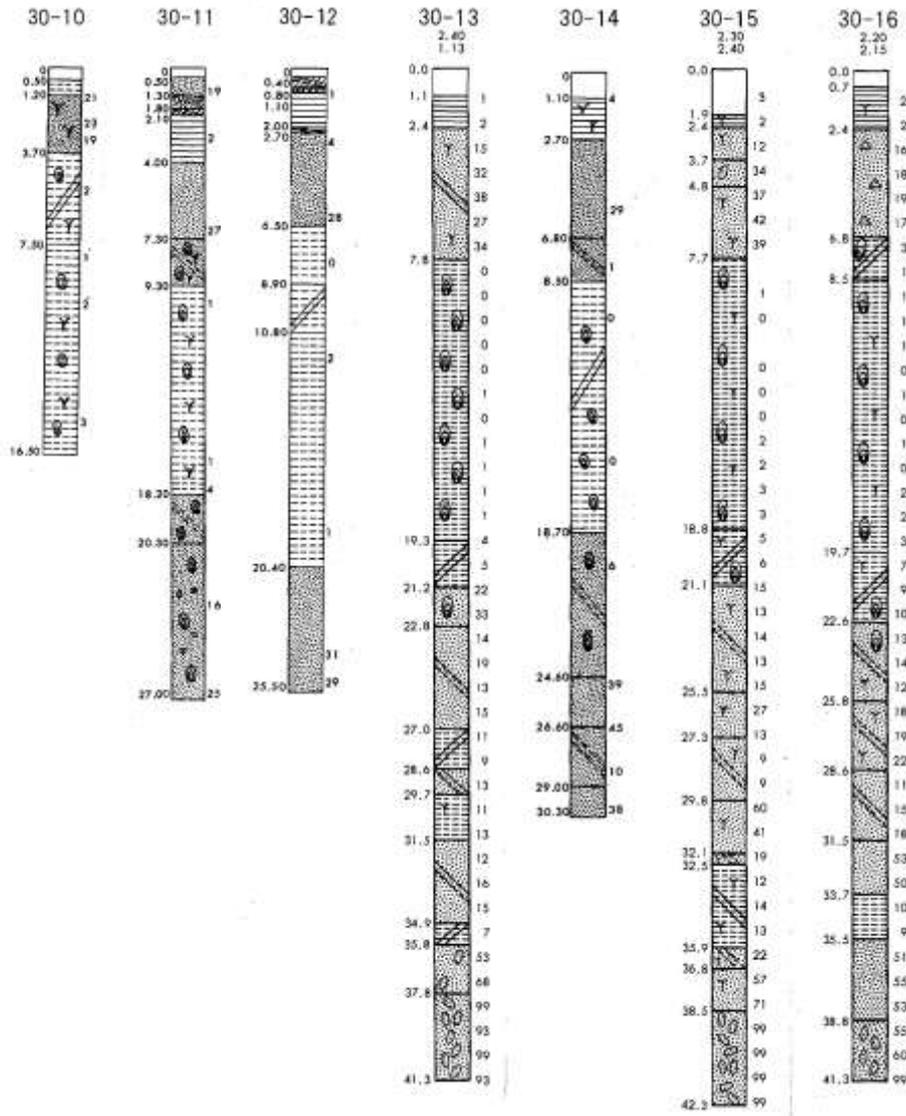
出典：「ガイドマップかわさき」（川崎市ホームページ）



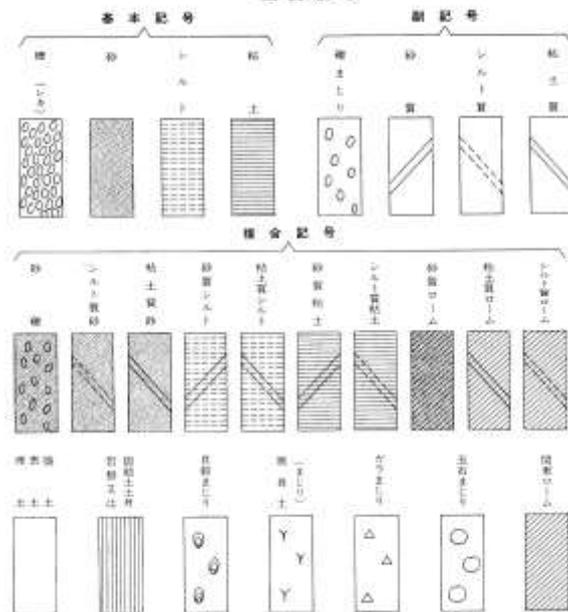
1 : 2,500



図 5-5 地質調査地点



地質柱状図凡例  
土質表示



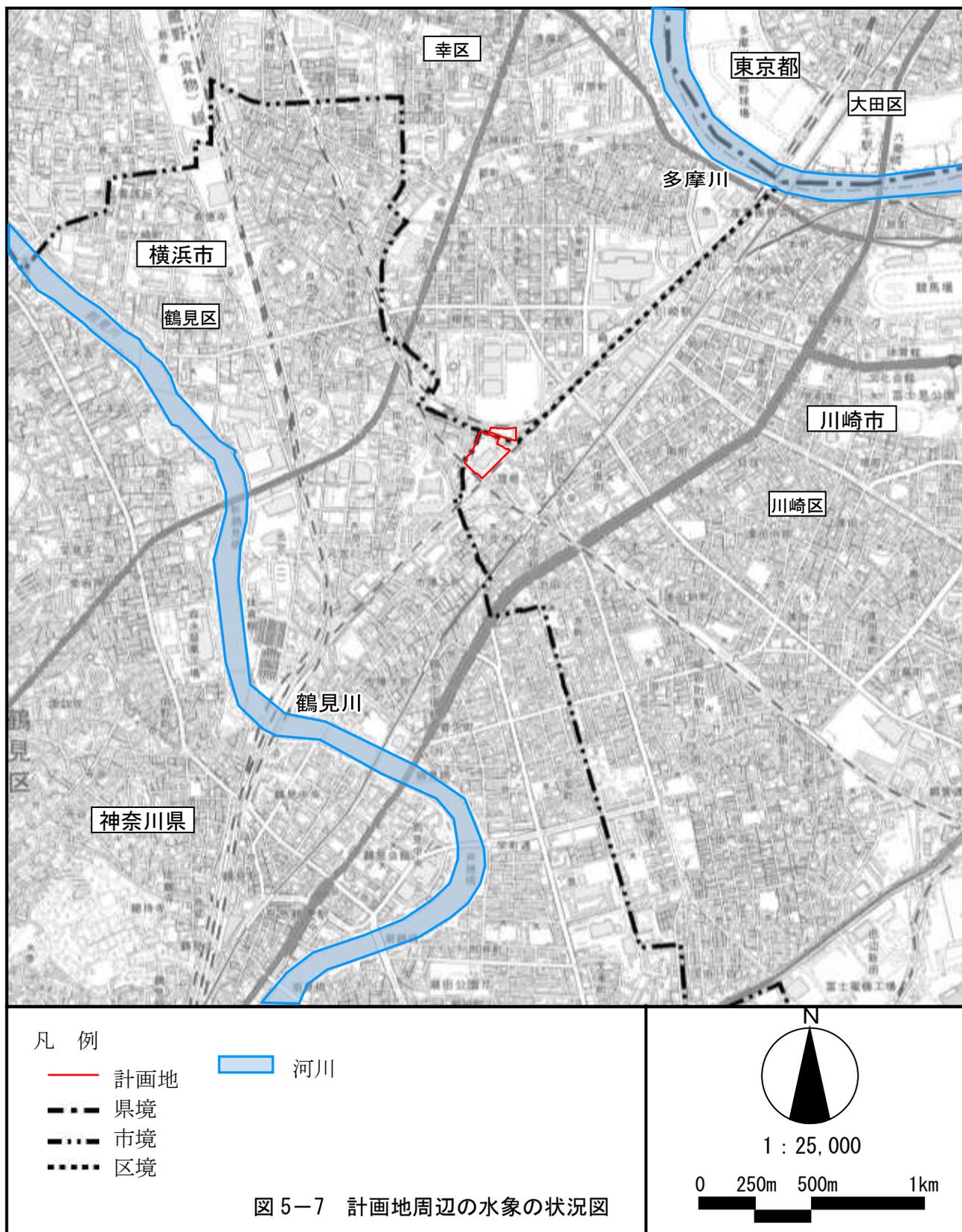
出典：「ガイドマップかわさき」（川崎市ホームページ）

図 5-6 柱状図

### (3) 水象の状況

#### ア 水象

計画地周辺の水象の状況は、図5-7に示すとおりである。計画地周辺には、多摩川及び鶴見川が流れている。



## イ 地下水

「令和元年度 環境局事業概要－公害編－」（令和2年2月 川崎市）によると、計画地周辺で行われている地下水調査として、測定計画継続監視調査地点（過去の調査で汚染が確認された地点）が4地点あり、測定結果は表5-1に示すとおりである。川崎区堤根でクロロエチレン、1,2-ジクロロエチレン、トリクロロエチレン及びテトラクロロエチレンが、幸区東古市場でトリクロロエチレンが環境基準を超過している。なお、幸区小向町及び幸区小向仲野町においてはいずれの調査項目についても環境基準を満足している。

また、計画地周辺で行われている測定計画概況調査地点は1地点あり、測定結果は表5-2に示すとおりである。いずれの調査項目についても環境基準を満足している。

表5-1 地下水の水質調査結果（測定計画継続監視調査）

単位：mg/L

調査項目	調査地点				環境基準
	川崎区堤根	幸区東古市場	幸区小向町	幸区小向仲野町	
クロロエチレン	0.020	—	—	—	0.002 以下
1,1-ジクロロエチレン	0.011	—	—	—	0.1 以下
1,2-ジクロロエチレン	0.89	0.013	0.0005	0.0045	0.04 以下
1,1,1-トリクロロエタン	0.010	—	—	—	1 以下
トリクロロエチレン	0.088	0.022	0.010	0.0098	0.01 以下
テトラクロロエチレン	0.16	—	—	—	0.01 以下

注)「—」は報告下限値を下回っていたことを示す。

出典：「令和元年度環境局事業概要－公害編－」（令和2年2月 川崎市）

表5-2 地下水の水質調査結果（測定計画概況調査）

単位：mg/L

調査項目	調査地点		環境基準
	川崎区宮本町		
	メッシュ調査		
1,2-ジクロロエチレン	—		0.04 以下
トリクロロエチレン	—		0.01 以下
テトラクロロエチレン	—		0.01 以下
セレン	—		0.01 以下
硝酸性窒素及び 亜硝酸性窒素	0.66		10 以下
ふっ素	0.14		0.8 以下
ほう素	0.07		1 以下

注)「—」は報告下限値を下回っていたことを示す。

出典：「令和元年度環境局事業概要－公害編－」（令和2年2月 川崎市）

#### (4) 植物、動物の状況

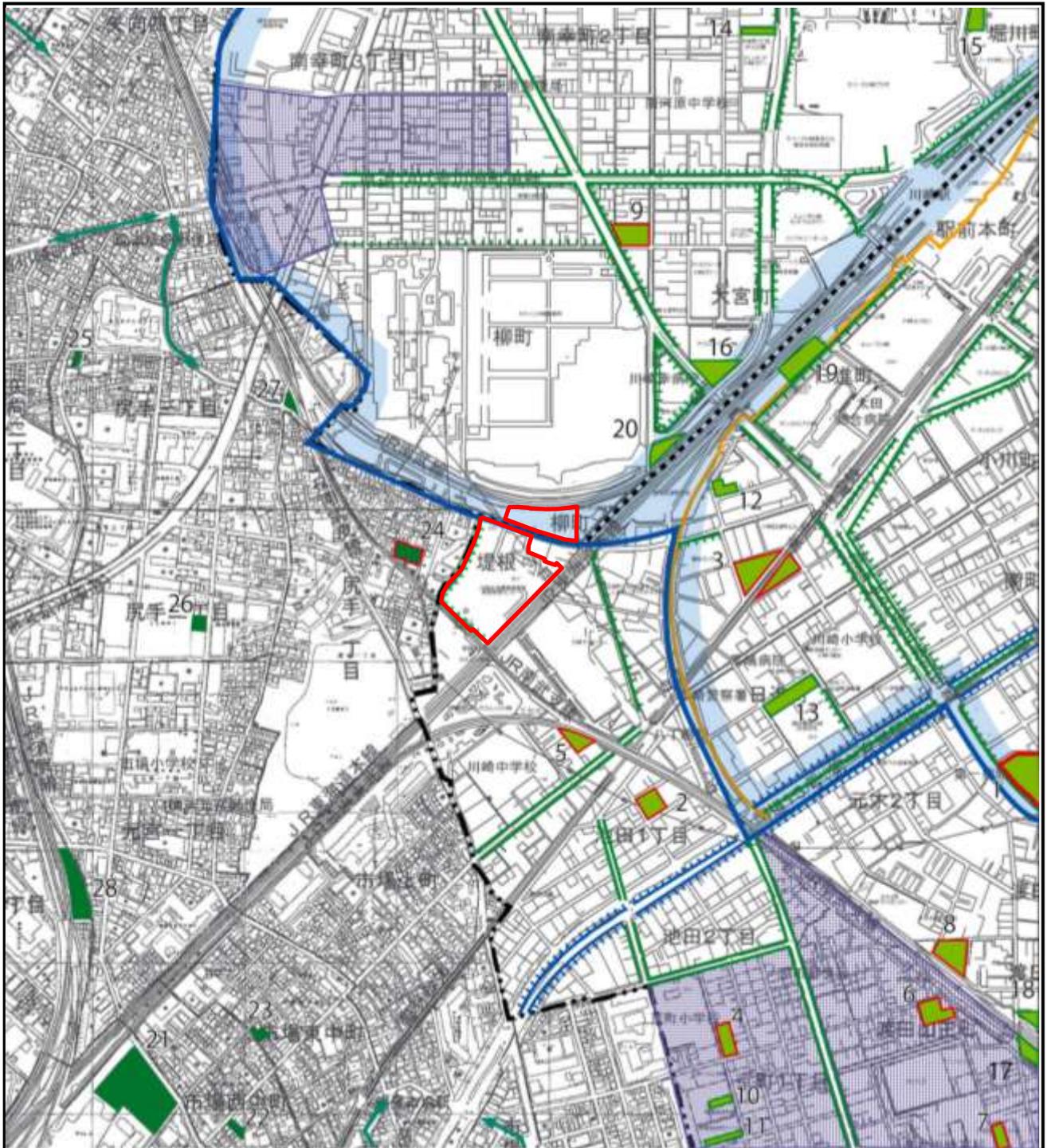
計画地、その周辺の公園、緑地等の分布状況は、図5-8に示すとおりである。

計画地の北西側から南西側の市道は、グリーンベルト等が整備されている。また、計画地の一部は、川崎駅周辺地区緑化推進重点地区となっている。

計画地近傍の公園、緑地等としては、計画地西側の尻手公園や計画地南東側の下並木公園、計画地東側の上並木公園等が存在している。

計画地の周辺は、戸建住宅、集合住宅のほか、商業用地や学校等の文教・厚生用地など、様々な土地利用がなされており、上並木公園等が存在しているが、樹林地、農地等はみられず、まとまった緑地等は少ない状況となっている。

また、「2019年度版 環境基本計画年次報告書」(令和2年1月 川崎市)によると、川崎市において確認された植物種数は1,353種、動物種については鳥類210種、哺乳類18種、両生類・爬虫類22種等となっているが、周辺にはまとまった緑地等はないことから、生物の生息環境としては貧弱であると考えられる。



凡 例

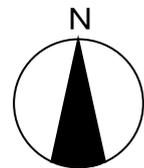
- 計画地
- · · — 市境
- · - - 区境

横浜市

- 都市計画公園・緑地
- 都市公園
- 街路樹（市管理）

川崎市

- 都市計画公園
- 開設又は整備中の公園等
- グリーンベルト（国管理）
- グリーンベルト
- 街路樹（国管理）
- 街路樹
- 遊歩道
- 緑化推進重点地区
- 地域緑化推進地区



1 : 10,000



出典：「川崎市公園・緑地等位置図」（令和2年1月 川崎市建設緑政局）  
 「横浜市公園緑地配置図」（平成29年7月 横浜市環境創造局）

図 5-8 公園、緑地等の分布状況

(5) 人口、産業の状況

ア 人口

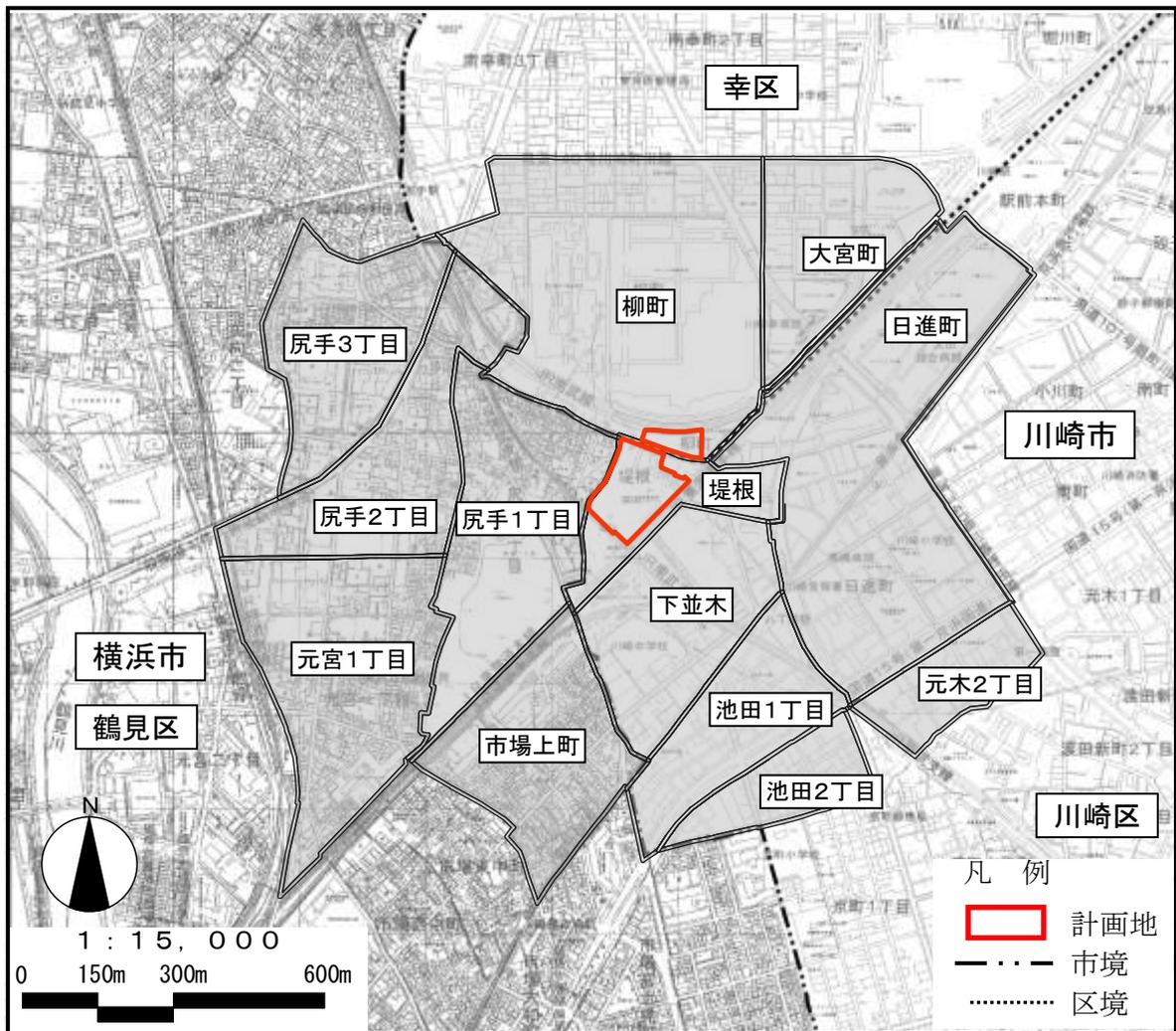
令和元年6月末日における計画地及びその周辺の人口及び世帯数は、表5-3に、町丁区域境は、図5-9に示すとおりである。

計画地を含む堤根の人口は281人（世帯数：193世帯）、柳町の人口は2,190人（世帯数：1,325世帯）となっている。

表5-3 人口及び世帯数（令和元年6月末日現在）

区 分			人 口 (人)	世帯数 (世帯)	
計画地及びその周辺	川崎市	川崎区	堤根	281	193
			下並木	3,049	1,592
			日進町	7,245	4,661
			池田1丁目	2,120	1,404
			池田2丁目	1,188	660
			元木2丁目	1,151	717
			柳町	2,190	1,325
	横浜市	鶴見区	大宮町	3,683	1,969
			尻手1丁目	6,495	2,479
			尻手2丁目	2,240	1,100
			尻手3丁目	2,904	1,281
			元宮1丁目	2,979	1,565
			市場上町	3,083	1,584
			川崎区		
幸区			169,941	83,337	
川崎市			1,510,592	750,797	

出典：「令和元年町丁別世帯数・人口（6月末日現在）」（川崎市ホームページ）  
「横浜市統計ポータルサイト（6月末日現在）」（横浜市ホームページ）



注) 図中の  は、表 5-3 に示した計画地のある堤根及び柳町並びにその周辺の町丁区を示している。

図 5-9 町丁区域境

## イ 産 業

計画地及びその周辺の産業分類別の事業所数及び従業者数は、表5-4に示すとおりである。

川崎区内では、事業所数が10,839事業所、従業者数が161,842人となっている。業種別にみると、事業所数については卸売・小売業が2,326事業所と最も多く、従業者数については製造業が27,558人と最も多くなっている。

幸区内では、事業所数が4,590事業所、従業者数が82,251人となっている。業種別にみると、事業所数については卸売・小売業が1,103事業所と最も多く、従業者数についても卸売・小売業16,175人と最も多くなっている。

表 5-4 川崎区及び幸区の実業所数及び従業者数（平成 28 年）

分 類	川崎区		幸区	
	事業所数 (事業所)	従業者数 (人)	事業所数 (事業所)	従業者数 (人)
農業、林業	5	162	7	141
漁業	-	-	-	-
鉱業、採石業、砂利採取業	-	-	-	-
建設業	1,148	10,524	462	4,810
製造業	853	27,558	349	11,898
食料品製造業	55	3,330	13	154
飲料・たばこ・飼料製造業	3	61	-	-
繊維工業	8	29	5	17
木材・木製品製造業(家具を除く)	3	16	1	20
家具・装備品製造業	13	91	3	28
パルプ・紙・紙加工品製造業	5	187	4	28
印刷・同関連業	41	324	21	288
化学工業	61	7,207	13	374
石油製品・石炭製品製造業	18	1,408	-	-
プラスチック製品製造業	32	566	20	514
ゴム製品製造業	1	4	1	14
なめし革・同製品・毛皮製造業	1	5	-	-
窯業・土石製品製造業	16	258	3	8
鉄鋼業	51	5,118	3	43
非鉄金属製造業	20	223	6	31
金属製品製造業	197	2,208	69	479
はん用機械器具製造業	50	326	27	685
生産用機械器具製造業	103	1,486	62	439
業務用機械器具製造業	21	363	11	462
電子部品・デバイス・電子回路製造業	19	203	26	605
電気機械器具製造業	55	3,043	26	4,381
情報通信機械器具製造業	13	439	9	2,585
輸送用機械器具製造業	29	501	11	689
その他の製造業	37	159	15	54
電気・ガス・熱供給・水道業	9	1,053	5	213
情報通信業	143	6,517	66	10,169
運輸業、郵便業	766	21,103	139	2,390
卸売業、小売業	2,326	22,367	1,103	16,175
金融業、保険業	138	3,283	47	1,043
不動産業、物品賃貸業	855	3,585	387	1,305
学術研究、専門・技術サービス業	433	8,027	149	12,155
宿泊業、飲食サービス業	1,648	14,980	636	5,653
生活関連サービス業、娯楽業	801	5,569	442	2,709
教育、学習支援業	218	3,831	120	954
医療、福祉	717	13,365	451	7,913
複合サービス事業	33	1,594	17	156
サービス業（他に分類されないもの）	746	18,324	210	4,567
合 計（公務を除く）	10,839	161,842	4,590	82,251

出典：「川崎市の経済（経済センサス）」（川崎市ホームページ）

## (6) 土地利用状況

### ア 土地利用規制状況

計画地の土地利用規制状況は表5-5に、計画地及びその周辺の都市計画の指定状況は、図5-10(1)、(2)に示すとおりである。

計画地は準工業地域に指定されており、その周辺は、北側は工業区域、南側は第二種住居地域、東側は準工業地域がありその先に商業地域が広がっている。また、西側は横浜市鶴見区となり、準工業地域となっている。

表5-5 計画地の土地利用規制状況

区 分	規制状況
都 市 計 画 区 域	市街化区域
地 域 地 区	準工業地域
都 市 計 画 決 定 の 内 容	ごみ焼却場
建 ぺ い 率	60%
容 積 率	200%

### イ 土地利用の状況

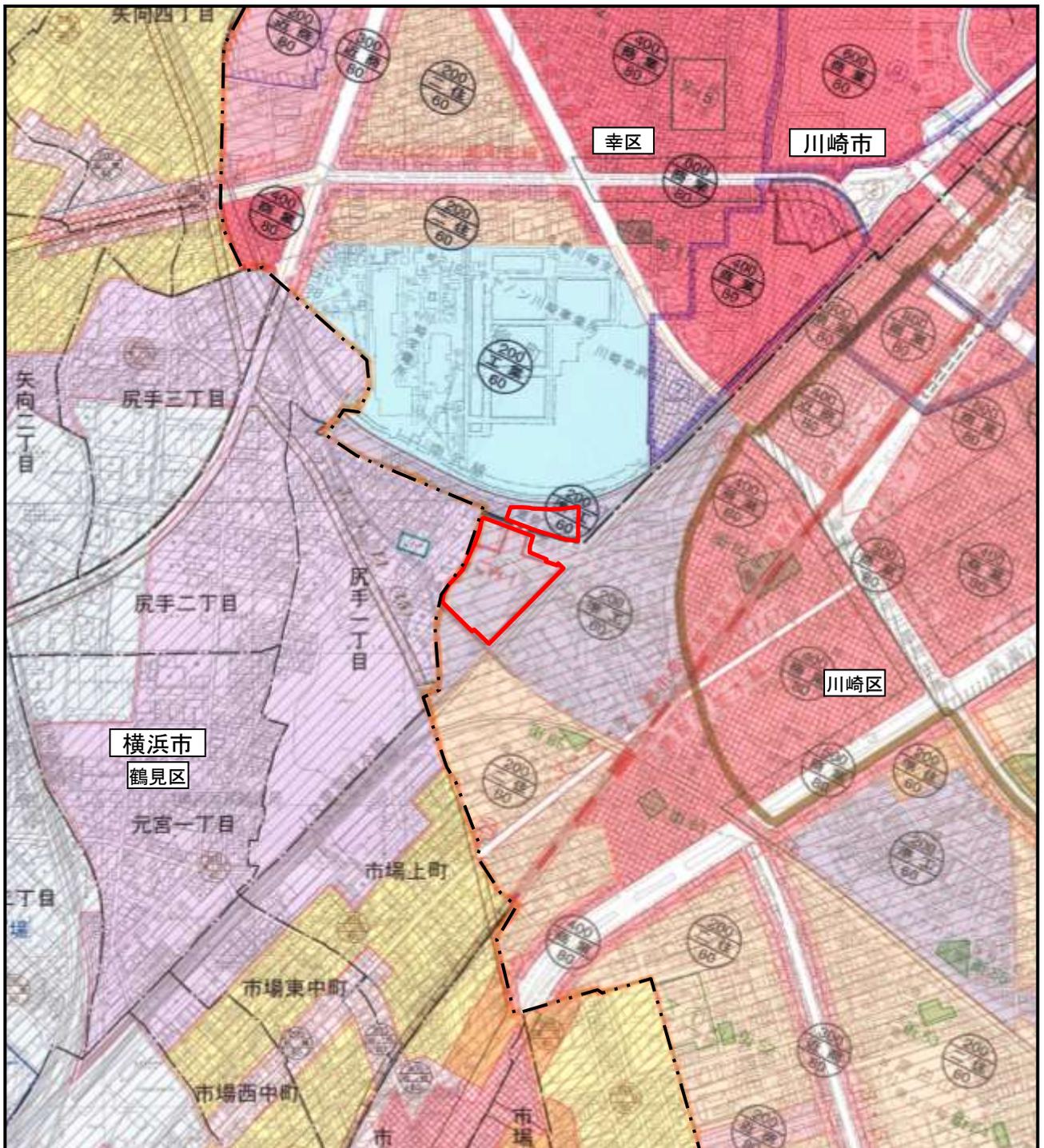
計画地及びその周辺の土地利用の状況は、図5-11に示すとおりである。また、計画地及びその周辺の空中写真は写5-1に示すとおりである。

計画地近傍は、北西側及び北東側の一部に戸建住宅や中層住宅がみられ、その他は鉄道、余熱利用市民施設等となっている。

計画地周辺の土地利用をみると、戸建住宅、集合住宅のほか、商業用地や学校等の文教・厚生用地など、様々な土地利用がなされている。

なお、計画地は現在、既存の堤根処理センターが存在している。

計画地周辺の住宅地及び道路上から、既存の堤根処理センター方向を望む現況写真は、写5-2のとおりである。また、現況写真の撮影地点は図5-12のとおりである。



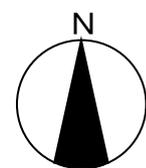
凡 例

計画地

--- 市境

- - - 区境

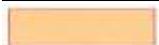
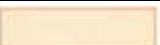
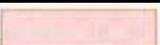
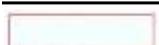
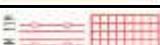
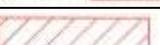
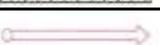
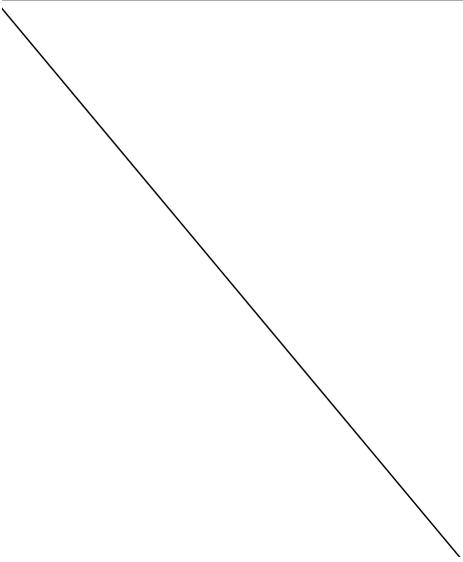
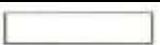
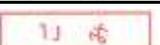
「川崎市の承認を得て同市発行の都市計画基本図を複製したものです。  
承認番号（川崎市指令ま計第17号）」



1 : 10,000



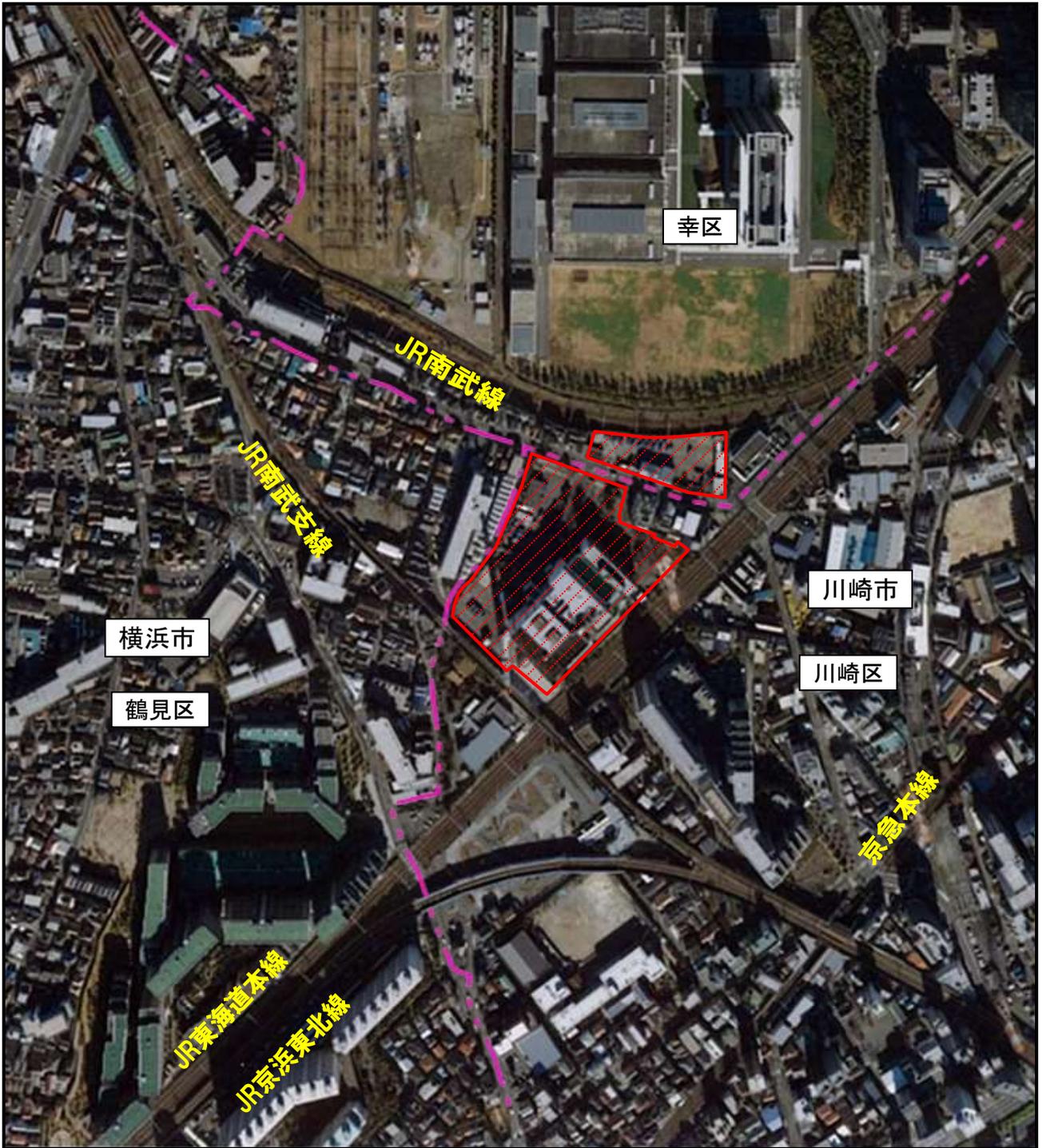
図 5-10(1) 都市計画の指定状況

凡		例	
横浜市		川崎市	
	第一種住居地域		市街化区域
	準住居地域		第二種住居地域
	近隣商業地域		準住居地域
	商業地域		近隣商業地域
	準工業地域		商業地域
	工業地域		準工業地域
	防火地域		工業地域
	準防火地域		高度利用地区
	都市計画道路		防火地域
	都市高速鉄道		準防火地域
	都市計画公園		駐車場整備地区
	下水処理場		都市計画道路（点線は地下）
			都市計画通路
			都市高速鉄道（点線は地下）
			自動車駐車場及び自転車駐車場
			公園
			ごみ焼却場及びごみ処理場
			学校
			市場
			土地区画整理事業区域
			地区計画
			地区計画（再開発等促進区）

出典：「川崎市都市計画図（川崎区）」（平成 29 年 3 月 川崎市）  
「横浜市都市計画図（鶴見区）」（平成 24 年 3 月 横浜市）

図 5-10(2) 都市計画の指定状況

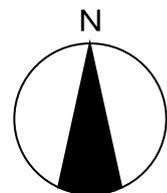




凡 例

-  計画地
-  市境
-  区境

「川崎市の承認を得て同市保有の都市計画データを使用したものです。  
承認番号（川崎市指令ま計第 16 号）」  
「川崎市の承認を得て同市発行の都市計画基本図を複製したものです。  
承認番号（川崎市指令ま計第 17 号）」



写 5-1 空中写真（平成 31 年 1 月 2 日撮影）